

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



日用品によるかぶれ

皮膚科 副部長 松岡 百合子

私たちは様々な日用品に囲まれて生活しています。その中に湿疹を起こす可能性がある製品もあり、それが原因と気付かず使い続け、湿疹病変が慢性化していることも少なくありません。

接触皮膚炎（かぶれ）とは外来性の物質が皮膚に接触することによって発症する湿疹性の炎症反応をいいます。湿疹とは赤い斑点やぶつぶつ、小さな水ぶくれなどが混ざって、じゅくじゅくした皮膚のことをいい、皮膚の最も外にある表皮というところの痒みを伴う可逆性の炎症反応をいいます。慢性化するとゴワゴワした皮膚（苔癬化）になります。接触皮膚炎で多いのは、刺激性接触皮膚炎とアレルギー性接触皮膚炎です。



刺激性接触皮膚炎

皮膚の表面の角層はバリアの役割を果たしており、分子量の大きな物質が角層を通過することはないと考えられていますが、現在の生活環境においては、角層の障害が起こる機会が多くあり、皮膚に接触した石鹼・強酸性・強アルカリ性物質などが角層を障害し、障害部位から侵入して、炎症を起こすことがあります。それを、刺激性接触皮膚炎と言い、アレルギー体質で無い人にも起こります。

家庭用洗剤やシャンプーに使用されている界面活性剤が原因として代表に挙げられます。界面活性剤は食品や化粧品の乳化剤、保湿剤、農薬、染料などに幅広く利用されています。手荒れや頭皮湿疹の原因となりえます。



アレルギー性接触皮膚炎

アレルギー性接触皮膚炎は、アレルギーの原因となる物質を「アレルゲン（抗原）」といい、このアレルゲンが体の中に入った時（接触したとき）に、免疫機能がはたらく状態を「感作」といい、はじめは大丈夫

でも、いったん感作が成立した後は、アレルギー症状を引き起こして発症します。例えば、金属アレルギーなどが

代表に挙げられますが、アクセサリー・コイン・時計・革製品など金属は多くのものに含まれています。繊維製品やプラスチック製品には原因となりうるホルム

アルデヒドや抗菌剤、着色料などが含まれています。

治療について

症状に対する治療はステロイドの外用薬になりますが、大事なのは、原因となる物質を見つけ出し、除去することで、繰り返されるのを防ぐことです。



その原因検索は、症状が出ている部位や問診（発症時期、発症部位、増悪や寛解の時期、発汗、日光との関連性、職業歴、趣味、化粧、家事、家族歴、薬物の接種歴など詳しい情報）で推測することが第一段階です。ある程度、推測できたら、パッチテストという検査をすることもあります。

それには、患者さまが、もしかしてこれでかぶれているかもと思っただけだと解決が早いかもしれません。

WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

病気や健康に関する情報を発信しています。Web版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン（QRコード）からいつでもご視聴いただけます。





部門紹介 2023 | 保育室

保育室 係長 橋本 知己

保育室は職員の福利厚生の一環としての施設で、男女問わず全職員のお子様
が利用対象となっています。特に産休・育休明けの職員は希望すればいつからでも
利用可能です！ また病院職員だけでなく近隣の三喜会関連施設の職員のお子
様も利用対象となっています。

主に0歳児から2歳児までの保育を行っていますが、休日勤務や夜勤勤務にも
対応しているので、普段は認可保育園や幼稚園・小学校に通っているお子様も
臨時利用として受け入れています。また保育職員においては、リスクマネジメント・
乳児保育・防犯・救急救命などの研修に参加し、保育の質と安全の向上に努め
ています。



子ども・保護者との信頼関係を重視し、子どもたちの笑顔があふれる保育室であり続けるよう奮闘しています！

保護者の方が安心して働く事により、間接的ではありますが、患者さまへの安心・安全な医療・看護提供に少しでも貢献
できればと思います。

最後に、近隣の方々には泣き声などでご迷惑をお掛けしていると思いますが、お散歩の時にはいつも暖かく声を掛けてくだ
さり、ありがとうございます。

認定看護師ご紹介

感染管理室 看護部 係長 佐藤 由有子 (感染管理認定看護師)

2023年4月に入職しました。“患者さまが安全に入院生活を送れるように” また “職員が安心して
働けるように” 感染管理に努めます。

実現可能で効率的かつ効果的な感染管理を考え、院内だけでなく、地域施設等も含めた感染管理
の向上に取り組みたいです。



そけいヘルニア（脱腸）について講演しました

この度、2023年10月21日に中山地域ケアプラザ主催の健康講座で外科・消化器
外科 部長 平山亮一医師が講師として登壇しました。

鼠経（そけい）ヘルニアの初期症状や治療についてなど、30名以上の参加者が聴講
されました。



第2回病院祭2023を開催しました

横浜みどりライオンズクラブ協賛の元、4年ぶりとなる
病院祭を開催いたしました。病院ならではの手術室見学
ツアーは予約がすぐに埋まるほど、お子様にも大好評で
した。その他、日常ではなかなか味わえない体験イベント
が催され多くの地域住民の方々に参加されました。



レオラジオに大地医師が出演しました

当院では兼ねてより乳がん検診啓蒙活動の一環として無痛MRI乳がん検診（ドゥイブス・サーチ）に
スポットをあてて紹介してきました。

10月はピンクリボン月間でもあり、副院長 兼 乳腺外科部長 大地哲也医師が乳がんについてお話され
ました。



レオラジオ